

陳 情	受 理 番 号	155	受 理 年 月 日	令和6年8月14日	付 託 委員会	都市建設 環境
件 名	那覇市指定ゴミ袋に点字方式ゴミ袋を採用することについて					

みだしの件について、別紙のとおり陳情いたしますので、よろしくお願ひいたします。

件 名 那覇市指定ゴミ袋に点字方式ゴミ袋を採用することについて (陳情)

### 陳情の趣旨

那覇市指定ゴミ袋に点字方式ゴミ袋を採用することを求める。

### 陳情の理由

私は、平成23年に高齢者や視覚障害者が使い易い「点字方式ゴミ袋」を  
発案し、この点字方式ゴミ袋の発明が評価されて「東久彌宮文化褒章」を受  
賞させていただきました。

東久彌宮文化褒章の受賞後、東日本大震災の被災地や全国の盲学校などに  
点字方式ゴミ袋を寄贈しましたところ、自治体の通常の指定ゴミ袋はあけ口  
が開け難くて困っている皆様から点字方式ゴミ袋の商品化を求める声が多く  
寄せられ、これに背中を押されて点字方式ゴミ袋に関する知的財産権（実用  
新案権、意匠権）を取得しました。

点字方式ゴミ袋は、あけ口の縁に沿って多数の凹凸を形成してあり、これ  
により、①密着したあけ口を開けやすく、②あけ口を閉じて軽い力で縛るこ  
とができ、③縛った後は解けにくい、などの有益な特徴があります。

点字方式ゴミ袋は、平成25年に、宮古島市において市指定ゴミ袋に採用  
していただき、宮古島市では視覚障害者や身体障害者だけでなく高齢者から  
も大変好評をいただいています。

点字方式ゴミ袋のあけ口に沿った部位への凹凸の形成作業は、就労支援事業所の障害者の皆様に委託しています。宮古島市では、当初20人体制で作業していましたが現在は60体制に拡大しており、障害者の皆様の就労機会を創出できていることで社会貢献に寄与しています。

令和5年には、点字方式ゴミ袋に関する知的財産(実用新案権、意匠権)を保護し、点字方式ゴミ袋を通して社会貢献に寄与していることが全国初の取り組みとして高く評価され、「東久彌宮平和賞」を受賞させていただくと共に、沖縄県発明くふう展では意匠部門において県知事賞を受賞させていただきました。

現在、沖縄本島内や県外の就労支援事業所の方々からの問い合わせや視察があり、また沖縄タイムスや琉球新報の読者から沖縄本島にも是非普及して欲しいとの問い合わせが寄せられていることから、沖縄本島内の自治体にも採用していただいて皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと考えております。

この度は、那覇市の視覚障害者の皆様、身体障害者の皆様、高齢者の皆様など多くの皆様からのご要望について、行政の皆様には点字方式ゴミ袋を市指定ゴミ袋として採用することを前向きにご検討いただきますよう心より深くお願い申し上げます。